

こんな活動です!!

合言葉は「心はひとつ チーム祇園」・地域の子どもは地域で育てる

活動名

祇園小学校学校支援会議
【長崎県佐世保市】

関係する学校

佐世保市立祇園小学校

活動の区分

学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティ・スクール	その他
○	○	—	—

基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	2人	47人	19年度	なし
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	1人	54人	24日	あり
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
	図書室、多目的室、体育館、運動場	19年度	なし	
コミュニティ・スクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	—	—人	—人	—学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

活動の概要

佐世保市立祇園小学校区では地域とともにめざす子どもの姿を「地域への愛着心を育てる」「未知のものや新しいものへの挑戦する心を持たせる」「思いやりの心を育てる」という3つの共有目標として掲げ、それを実現するために、学校支援会議を毎月開催し、4つの専門部(学習活動・体験活動・安全・環境)を設置することにより、具体的な活動を通して学校づくりや地域づくりをおこなっている。

活動は1学校区内にとどまらず、同じ中学校区の小・中学校4校にも呼びかけ、中学校区の全地域で行事の企画や9か年にわたるカリキュラム編成をおこない取組を進めるなど、地域を巻き込んだ活動をしている。学校教育目標の達成のために地域が協力し、またそれを住民が生きがいと感じるなど、学校と地域の相互共栄が図られている。



学校清掃大作戦

特徴

<特徴的な活動内容>

- ★学校支援会議(長崎県版学校支援地域本部)を毎月開催することで、行事の企画・運営の検討、学校の教育課題及びその対策についての共有化を図るばかりでなく、地域住民同士の交流機会を提供し、地域づくりに貢献している。
- ★4つの専門部によりそれぞれの目的に応じた活動が主体的に展開されている。
- ★小学校区にとどまらず、近隣の小・中学校区に呼びかけ、9か年のカリキュラム作成を行っている。
- ★学校と地域の協働関係の構築により、地域住民の生涯学習支援を行っている。
- ★日頃のあいさつ運動はもちろん、参観日や教職員の研究授業を参観することで、学校関係者評価の充実に活かしている。

<実践に当たっての工夫>

- 「中庭のレイアウト」「清掃大作戦」「どんと焼き」の企画運営をし、広報活動を充実させることで行事の趣旨等の周知を図り、保護者や公民館長・民生委員児童委員等をはじめ、一般の地域住民等が多数参加している。
- 多数の店舗が集まっている地域性や様々な技を持った地域の達人を活かし、授業の中に位置づけることで、豊かな体験活動を充実させている。
- 学校支援会議委員が放課後子ども教室の実務を兼務し、内容の企画や事前準備のボランティア召集など、ネットワークを活かした取組を行っている。

<その他の特徴>

- 一人ひとりの支援会議委員が当事者意識をもち、「良い地域が良い学校を創る」という強い思いで取組を支えている。
- 鍛錬遠足など多数の保護者や地域住民のコミュニティとしての場を提供しており、学びを通じて人がつながっている。

地域での「祇園ショップ」

<年間の主な活動計画>

4月	会則確認・年間計画立案	10月	県下一斉パトロールの実施
5月	6月集会の取組について	11月	研究授業参観
6月	心をつめる集会実施	1月	どんと焼き
7月	教育課題及び対策の共有	2月	学校関係者評価
9月	学校清掃大作戦	3月	体育館清掃 卒業式出席

事業を実施して

○学校支援会議のメンバーが、「学校の株主」という当事者意識を持って学校の現状や課題について共有しており、学校の強力な支援者としての存在は大変貴重である。協働による新しい教育が開けてきている。
○様々な人との関わりによる豊かな体験が、子どもたちの心の教育になっている。また、子どもとのふれあいを楽しみに笑顔で集まってくださる方から、「子育ては自分が育つこと」という言葉をいただき、大変うれしく思っている。